

## 平成26年度 彦根統合新校設置懇話会 第4回会議 概要

### 1 日時

平成26年11月25日(火) 16:00～18:00

### 2 場所

彦根翔陽高等学校 セミナーハウス

### 3 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 意見を伺う事項
  - (1) 統合新校の校章デザイン・校歌(歌詞)について
  - (2) 統合新校の教育内容等について
  - (3) 統合新校の統合移行期について
- 4 その他
- 5 閉会

### 4 出席者

#### (1) 委員

- 岡崎 正彦 委員(彦根市PTA連絡協議会 顧問)  
杉本 定幸 委員(彦根翔陽高等学校同窓会 会長)  
福渡 努 委員(滋賀県立大学人間文化学部 教授)  
磯谷 直一 委員(彦根市企画振興部 部長)  
宮野 由紀絵 委員(彦根西高等学校 学校評議員)  
八谷 啓子 委員(彦根翔陽高等学校 学校評議員)  
※ 藤田 隆行 委員(彦根西高等学校同窓会 会長)は欠席

#### (2) 統合新校開設準備室

- 茶谷 不二雄 統合新校開設準備室長(彦根翔陽高等学校長)  
猪田 章嗣 統合新校開設準備室参事(彦根西高等学校長)  
浅見 義典 県教育委員会事務局管理監(学校支援課長)  
森田 恭司 県教育委員会事務局学校支援課参事

### 5 主な意見

#### (1) 統合新校の校章デザイン・校歌(歌詞)について

- 校章デザインの募集期間は、平成26年12月から平成27年1月までを予定している。
- 応募数が一定集まれば良いが、可能であれば募集期間をもう少し延ばした方が良いのではないかと。
- できるだけ多くの校章デザインの応募が集まるように、募集期間は長くしたい。ただし制服への反映も考えているので、平成27年3月末までには選定したい。
- 校歌についてはいろいろご意見をいただいている。開校までに間に合えばよいので、今回は公募を見送りたい。校歌制定委員会等をつくって、もう少し検討させていただくことにしたい。
- 校章デザインの公募については、記者資料提供をするとともに、地域の小中学校、彦根西・彦根

翔陽高校、県内の大学等にも広報をしていきたいと考えている。

- 彦根市内の小中学校への校章デザイン募集要項の配布については、中学校のみとし、彦根市内だけではなく、近隣市町の中学校まで募集の範囲を拡大すると良い。
- ホームページだけではなく、市町の広報誌や県教委の「教育しが」などでも広報した方が良い。
- 校歌の募集については、慌てず時間をかけて専門の方に良いものをつくってもらいたい。

## (2) 統合新校の教育内容等について

- 普通系列の名称、特に「自然探究系列」については内容がわかりにくく感じる。大学では、一般的に「自然科学」、「人文科学」、「社会科学」という名称が広く使用されている。
- 県内の総合学科の系列名はカタカナの名称が多く、学習内容がわかりにくく感じる。
- 系列名称に「探究」を冠するのは、新しい学習指導要領の求める力を端的に表現している。ただし系列名称は、今のところ仮称である。
- 看護系を希望する生徒にとっても、わかりやすい系列名称があると良い。
- 系列名は保護者の目から見ても分かるものが良い。
- 大学では、近年、家政学部が生活科学部という名称に変わってきている。家庭科学系列という名称についても検討すると良い。
- 系列名は、今後、作成する学校案内などに、中学生から見て、そこでの学習内容や卒業後どういう進路が考えられるかが分かるようであれば問題ない。
- 系列名称も大切だが、それ以上に教育内容の中身が大切である。専門的な内容を学ぶことができ、社会に出ても即戦力として使えるような技術の習得ができる専門教育を希望する。
- 教育内容に記載されている「完結する専門教育」という表現は、生涯学習の視点から相応しくないと思う。
- 進学対応と同時に、さまざまな資格取得を魅力とする学校作りを目指してほしい。
- スポーツを特色とした系列があってもよい。

## (3) 統合新校の統合移行期について

- 統合する方法については、新校の目指す姿から考えて、3校いずれの学校の生徒にとっても教育的効果が大きいと判断し、再編計画どおり、開校準備をさせていただくことにする。
- 増築校舎の工事入札が不調に終わり、工事が遅れることになるのではないかと。再編計画には、「施設の整備状況により、変更となる場合がある」と書いてあるが、どのように対応するのか。
- できるだけ早期に工事が完了するよう全庁を挙げて取り組んでもらっている。
- 工事期間中、安心して学習や登下校、また部活動に専念できる環境を保証してほしい。
- 現在の中学3年生とその保護者に対しては、各中学校を通して平成28・29年度の統合移行期の内容については周知してもらっている。
- 3校が一緒になることで、様々な不安もある半面、大きな教育効果が期待できる。
- 部活動について、3校一緒であれば日頃から練習は合同で行い、大会出場の形態については、各部の状況に応じて単独あるいは合同かを選択することができる。
- 工事期間中のグラウンドや弓道場、テニスコート等の確保は、全面的に県で保障してほしい。
- この地区の小中学生の安全確保についての対応策等についても、工事が始まるまでに関係者への説明をお願いする。
- 現状をよく見て、3校が一緒に学校生活を送ることの問題点を検討し、それらを改善するように努めてほしい。